



【活動項目】 ④産業道路環境	【活動テーマ】 田原臨海工業地域周辺道路の渋滞解消	
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現（ルート案1＝西側ルート：田原市要望案の実現） ・ 市道下畑波瀬線の早期開通 ・ 国道259号渋滞解消 	
<p>前回まで 活動状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道23号BPの全線開通の見通しを受け、沿線の市としての接続する国道259号などの整備について意見交換 ・ 委員会での市道整備進捗についての確認及び要望の提出等 	
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【○】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>○国道259号の整備状況の確認 ～豊橋・田原間の渋滞対策として豊橋区間での工事計画・進捗等について確認</p> <p>【Q&A】・老津BPの拡幅計画は ～老津町道林交差点から境橋北交差点までの約1.4km。 本年度中の開通を目指す。</p> <p>・杉山町天津交差点の拡幅計画は ～本年度中の完了を目指す。</p> <p>○決算委員会において「幹線道路整備事業」の成果・今後の取り組みについて質問。</p> <p>【主なQ&A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渥美半島の道路に関する検討業務の内容は ～愛知県と役割分担、交通状況の現状分析、課題整理を実施。今後必要な道路計画の基礎調査。 ・ 検討業務で得られた成果は ～県との協働で実施したことで、「広域道路ネットワーク計画」の構想路線として正式に「渥美半島道路」が位置付けられた。 ・ 国道259号の取り組みは ～国道259号が臨海企業物流のリダンダンシー確保のため重要である事を訴えている。また、国道259号の4車線化でミッシングリンク解消の整備を要望している。 	 <p>老津 BP 拡幅工事</p>  <p>天津交差点拡幅工事</p>
<p>今後の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松三ヶ日・豊橋道路について、早期整備実現に向けて関係各所への働きかけを継続する。 ・ 国道を含めた県管理道路、市内幹線道について一般質問や予算委員会等で状況の確認と継続した要望活動を実施する。 	

田原市

所属議員

赤尾昌昭 平松昭徳

全トヨタ労連 29期(後)統一テーマ 経過報告シート 西久保グループ

活動期間： 2021年 7月～9月 (#1政治センター幹事会報告)

組合員目線

【活動項目】 ④防災	【活動テーマ】 南海トラフ地震に備えた防災活動	
<p>到達目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・津波避難困難地区の津波避難施設の早期実現 ・安全な避難路・避難経路の確保 ・コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め避難所運営の確立 	
<p>前回まで活動状況</p>	<p>・29期後半期からの新たな取り組みだが、会派として市政運営要望書、委員会等の場では、「防災対策の充実」を図るため、高潮及び津波防災地域づくりの推進、防災・減災地域づくりの推進を掲げ、課題の指摘や様々な要望等を継続して進めてきた。課題に対して対応が進められている。</p>	
<p>今回 具体的活動</p> <p>今回の進捗 【 ○ 】</p> <p>◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり</p>	<p>○避難困難地区の津波避難施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中山地区で津波避難施設（4か所）と既存の2階建て公共駐車場（1か所）を整備。全5か所の津波避難施設が完成すれば2,034人の避難が可能となる。令和3年度内にすべて整備される予定。 <p>○安全な避難路・避難経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田原市津波防災地域づくり推進計画が見直され、国や県との連携により、効果的な津波防災（ハード・ソフト）を体系立てて推進する（道路ネットワーク整備、津波避難施設整備、防災教育等） ・津波等発生時、避難路には狭隘道路や老朽化した家屋や耐震化していない建築物等があり、地震発生時に建物の倒壊や倒木等により通行できないおそれがあるため、各自治会と協力し経路見直しを含めた整備や対策等を引き続き要望を進める。 <p>○コロナ禍による避難所の運営等の見直しを進め、避難所運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「避難所における新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」が作成され、消毒液等の感染症防止資器材の備蓄・分散配備が実施された。 ・地域防災力の向上に向け、自主防災活動推進地区を指定し、活動の重点支援を実施した。 ・連合地協と共に要望していた「避難所における要配慮者用の備蓄品の拡充」について、備蓄トイレの様式化、子ども用オムツ、大人用オムツ、粉ミルクなどの備蓄品の充実が実施された。 	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p> <p>●防災・減災に関する新たな取り組み 津波避難タワーの建設</p> <p>津波避難困難地域における避難対策として、小中山地区に津波避難施設（一時避難場所）を整備</p> <p>○津波避難タワーの整備(4か所)</p>  <p>[自主防災活動]</p>  <p>[備蓄品の拡充]</p>  <p>乳児用液体ミルク</p>
<p>今後の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難困難地区の津波避難施設の建設等について、5か所の整備が今年度に完了するので完成後に確認を行い課題等があった場合、指摘や提言を進める。 ・コロナ禍により、防災訓練や防災教室ができない状況になっているなか、情報展開や訓練方法等について提案をしていく。 	